



さいたま市議会議員
キラーン

やなか通信

平成26年夏号



がんばります!

市議会6月定例会で、一般質問を行いました!
(6月16日 さいたま市議会 定例会)

1 健康マイレージ制度 いよいよ実現へ!

やなかは、以前より提案をしている『健康マイレージ制度』(ウォーキングや健康診断の受診などで貯まったポイントを景品と交換できる制度)の推進状況を質問。

市は、平成28年度の開始に向け、制度設計を進めており、全庁を挙げて取り組んでいる、と回答。実現に向け、大きく前進しました!



3 防災情報を スマホでもっと手軽に!

やなかは、市民が必要な防災情報を手軽にリアルタイムで得られるよう、スマートフォンアプリ(「さいたまアプリ」)などの提供を強く訴えました。市は、より広く防災情報を提供できるよう、民間の協力も視野に入れ、推進していきたい、と回答。実現にむけて動き始めました。



2 安心安全のまちづくりを!

大災害時の予想被害の1/3が集中するのが、実は浦和区。「区民の命を守る浦和区に」と、一貫して地域防災を訴えてきたやなかは、スタンドパイプのマニュアル整備や訓練実施、公園や防災倉庫の整備、そしてマンションの防災力向上について推進状況を質疑。

市は、いずれも重要視しており、整備を急いでいること、また避難施設となるマンションへの備蓄品提供支援や、防災マニュアル作成についても推進を約束しました。

4 認知症高齢者等の 家族向けマニュアルを提案!

認知症による行方不明者が増加しつつある現状を踏まえ、やなかは、家族向けに日常的な心得を記したマニュアルの作成・提供の必要性を強く訴えました。市は、現在配布しているパンフレットの外、提案のマニュアル作成と配布も検討を約束しました。

【やなかのミニ実績】

実現! 『サバイバルカード』が命を救う!

やなかの提案で、命を守るカードが完成!大災害時に知っておくべき、「伝言ダイヤルの使い方」「家族の集合すべき場所」「革靴で歩ける距離」「日没/日の出時刻」「夜間行動の危険性」など、帰宅困難者のための有効な情報をたった一枚のカードに収めました。

折りたたむと、名刺入れやパスケースに入る大きさになります。東日本大震災の教訓を踏まえ、外国の方のために、4ヶ国版が用意されています(市HPからダウンロードできます)。



やなか信人に市政への要望、ご意見など、皆様の声をお聞かせください。

★メールは yanaka.nobuto@yanaka.saitama.jp ★ホームページは <http://yanaka.saitama.jp>

